

| | | | | | | |
|---|-----|------|-----|-----|----|-----|
| 施設栽培カンキツのコナカイガラムシ類の効果的な防除法 | | | | | | |
| 〔要約〕 施設栽培カンキツの重要害虫であるコナカイガラムシ類の防除にはアプロード水和剤 1,000倍の 2週間間隔で 2～ 3回散布が有効である。 | | | | | | |
| 長崎県果樹試験場・病害虫科 | 専 門 | 作物虫害 | 対 象 | 果樹類 | 分類 | 指 導 |
| 平成 6 年度長崎県果樹試験場業務報告 | | | | | | |

〔背景・ねらい〕

施設カンキツではコナカイガラムシ類の発生が多く、すす病を誘発するなど果実品質の低下を招いている。また、施設栽培では使用できる薬剤が少なく、防除に苦慮している。そこで施設栽培での有効な防除法の検討を行った。

〔成果の内容・特徴〕

- ①アプロード水和剤 1,000倍はカンキツのコナカイガラムシ類に対して遅効的であるが、2週間間隔の2回散布あるいは 3回散布を行えば、その防除効果は高く、薬害も認められない。

〔成果の活用面・留意点〕

- ①コナカイガラムシ類は果実同志や果実と葉が接した部分、枝の分かれ目など薬剤のかかりにくい場所に好んで生息するため、薬剤散布に当たっては散布むらのないように圧力をやや強くして丁寧に行うことが大切である。
- ②アプロード水和剤は高密度時では効果がやや劣るので低密度時での防除が必須であり、散布後に生存虫がみられる場合は 2週間後に再散布あるいはさらに再々散布を行う必要がある。

[具体的データ]

表1 カンキツのフジコナカイガラムシに対するアプロード水和剤の防除効果と薬害

| 供試薬剤 | 使用 濃度 (倍) | 散布前虫数 | | | | | 第2回散布13日後虫数 | | | | |
|----------|-----------------|-------|----|----|----|-----|-------------|-----|----|----|-----|
| | | 1齢 | 2齢 | 3齢 | 成虫 | 卵のう | 1齢 | 2齢 | 3齢 | 成虫 | 卵のう |
| アプロード水和剤 | 1,000 | 572 | 36 | 3 | 5 | 4 | 81 | 8 | 0 | 2 | 0 |
| 無散布 | - | 118 | 33 | 25 | 20 | 1 | 1,274 | 102 | 12 | 20 | 10 |

| 供試薬剤 | 使用 濃度 (倍) | 第3回散布14日後虫数 | | | | | 薬害 |
|----------|-----------------|-------------|----|----|----|-----|----|
| | | 1齢 | 2齢 | 3齢 | 成虫 | 卵のう | |
| アプロード水和剤 | 1,000 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | - |
| 無散布 | - | 524 | 85 | 17 | 18 | 15 | |

[その他]

研究課題名：施設病害虫の効率的防除法の確立

予算区分：県単

研究期間：平成6年度

研究担当者：早田栄一郎，大久保宣雄

既発表論文等：平成6年度 長崎県果樹試験場業務報告

残された問題点：なし